

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成27年6月16日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：米谷長官官房総務課長 他

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただ今から原子力規制庁の定例会見を始めたいと思います。

まず初めに、米谷総務課長の方から報告事項がございます。

○米谷総務課長 今日はこちらから2点の報告があります。

1点目、原子力規制委員会について。明日6月17日、10時半から第15回原子力規制委員会を開催します。議題は4点です。

1点目、東京電力株式会社福島第一原子力発電所G4南エリアA5-A6タンク連結面の不具合に係る同社からの報告等に対する評価等についてでございます。これは、昨年9月4日に、東京電力株式会社福島第一原子力発電所のG4南エリアのA5タンクとA6タンクを連結する弁の弁箱から汚染水が漏れ落ちているということが確認された件について、今年の4月28日に東京電力より、この事象の原因と対策についての報告書の提出がありました。6月5日に一部補正がなされておりますが、その内容を精査し、評価案を取りまとめたので、これを委員会に諮るというものでございます。

2点目は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の平成27年3月末の敷地境界における実効線量の評価の状況についてでございます。原子力規制委員会は、平成26年2月26日付で、東京電力福島第一原子力発電所敷地境界における実効線量の制限の達成に向けた規制要求についてというのを決定して、敷地境界における実効線量を平成27年3月末までに2mSv/年未満、平成28年3月末までに1mSv/年未満とすることなどを内容とする実施計画の変更を指示していましたが、この度、東京電力株式会社から平成27年3月末時点における敷地境界における実効線量の評価の状況について報告がございましたので、これを委員会に報告するというものでございます。

議題の3は、日本原燃株式会社濃縮埋設事業所ウラン濃縮工場に係る現状確認についてであります。核燃料施設等に係る現状確認の進め方については、平成25年12月25日の委員会です承されておまして、この中で日本原燃株式会社の濃縮施設の六フッ化ウランを静圧で取り扱う。静圧というのは、空気が外に出ていこうとする状態であること、それで取り扱う工程でございます均質・ブレンディング設備、ブレンドする設備ですね。については、事業許可上の最大想定事故を想定して、六フッ化ウランによる一般公衆に対する線量評価と科学的影響の評価、それから、六フッ化ウランによる科学的特性を考

慮した事故対策が講じられているかということを確認すること。それを完了することとされておりました。今般、これに従って原子力規制委員会において現状確認をいたしましたので、その結果を委員会に報告するというものでございます。

議題の4は、原子力事業者防災訓練報告会の結果報告。平成26年度の原子力事業者が実施した訓練結果の評価案についてでございます。これは、昨日、原子力事業者防災訓練報告会を行いました、その結果を委員会に報告するというものでございます。

次に、検討チームの会合、会見などについてでございます。

本日6月16日は、13時半から原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合を行っています。更田委員が出席をしています。この会合では、関西電力・高浜1・2、高浜3・4を対象として事業者から説明を受けております。高浜1・2号炉については、運転期間延長認可申請もなされておりますが、この会合では設置変更許可申請に係る審査をしています。

明日6月17日水曜日は、14時半から田中委員長の定例の記者会見を行う予定です。

6月18日木曜日は、13時半から原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合を開催します。更田委員が出席の予定でございます。関西電力・高浜3・4号炉、東京電力・柏崎刈羽1号、6号、7号炉を対象として、特定重大事故等対象施設に係る審査会合を非公開で行います。

同じく6月18日木曜日、14時から維持規格の技術評価に関する検討チーム（第1回）を開催します。田中知委員が出席の予定でございます。この会合の場所は、東京都港区新橋の外の会場となっておりますので、御注意願います。

6月19日金曜日は、10時から核燃料物質等の新規制基準適合性に係る審査会合を開催します。櫻田部長が出席の予定でございます。対象事業者につきましては、判明次第、皆様にお伝えをいたします。

また、6月19日金曜日の13時半から原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合を開催します。石渡委員が出席の予定でございます。対象事業者は、判明次第、皆様にお伝えします。

同じく6月19日金曜日、14時から原子力災害時の医療体制の在り方に関する検討チーム（第3回）を開催します。中村委員が出席の予定でございます。

14時半から定例の規制庁ブリーフィングを行います。

今週の要人面会については、特に予定はありません。

それでは、火曜日でございますので、川内原子力発電所の使用前検査の状況について御報告をいたします。

まず、1号機の使用前検査の状況でございますが、先週は、予定で申し上げましたとおり、工事計画に記載された品質管理の方法等に関する検査として、保安活動における不備事項の評価改善等について、事業者の実施状況を確認しました。

それから、3号検査といたしまして、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却

系統施設、放射線管理施設、原子炉格納施設、その他発電用原子炉の附属設備について、機能、性能要求、基本設計方針に係る検査を実施いたしました。予定したことを基本的に予定どおり実施したということでございます。

今週の予定でございますが、3号検査として、原子炉本体、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設、放射性廃棄物の廃棄施設、放射線管理施設、原子炉格納施設、その他発電用原子炉の附属施設について、機能、性能検査、基本設計方針に係る検査を実施する予定でございます。

1号機の3号検査までは、今週で終わる予定ということです。

それから、2枚目につけておりますが、2号機の使用前検査の状況でございますが、先週、品質管理の方法等に関する検査を実施いたしました。今週は予定が入っておりません。

私からは以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けしたいと思います。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ナガオさん、どうぞ。

○記者 共同通信のナガオです。

本日の午前中なんですけれども、中部電力が浜岡原発の3号機の申請をいたしました。先に4号機は審査が進んでいるんですけれども、3号機の審査はどのように進めるか、今のところ決まっていたらお願いします。

○米谷総務課長 まず、今日の午前に高浜の3号機について申請を受理しました。審査につきましては、これまでと同様に、まず申請の概要の説明を受けて、その後、主要な論点を提示するということになると思います。その後の具体的な審査の進め方については、担当の方で今後検討するということとなります。

○記者 浜岡についても、4号機については、他の3つのサイトと合同でプラント側の審査は行われていると思うんですけれども、そちらと今日出たばかりの3号機では進捗度合いに差があると思われまして、別でやらざるを得ないというような感じになるのでしょうか。

○米谷総務課長 先程申しましたように、3号機について、まず概要を聴取するのと、それから、論点提示まではしますが、その後の審査の進め方は、その状況を見て検討してまいりたいと思っております。

○記者 また浜岡の件なんですけれども、浜岡原発は東海地震の想定震源域に立地しているということで、地元の方でもそういう不安が大きいところであるんですけれども、一番争点になると見られる地震・津波対策に関する審査に関しましては、まだなかなか序盤というような印象を受けているんですが、現状、浜岡の審査、全体的にどう見ていら

っしゃいますでしょうか。

○米谷総務課長 先程もナガオさんの方からもありましたように、BWRについては、4つの原発をBWRで類似の点も多いということで一緒に見ているというのが上物については基本的にそうなっておりますが、今後、その中でどう進めていくのかということがあると思いますが、当面、まずは今進めている、先行している4つのサイトの審査をしていくのかなというふうに思っています。

○司会 他にいかがでしょうか。タナカさん、どうぞ。

○記者 西日本新聞のタナカです。

川内の使用前検査なんですけれども、以前は項目によっては継続になったりというのがあったんですけれども、先週は全くそういうのはなかった、順調に進んだという認識でよろしいのでしょうか。

○米谷総務課長 基本的に予定どおり予定したことが行われたと思っておりますが、全つかどうかはいかがですか。

○澤田安全規制管理官 安全規制管理官、澤田です。

私ども、検査として実施したものについては、今、お話がありましたように、ほぼ予定どおり実施しております。ただ、一部、検査に入る前に九州電力の方で準備がちょっと整わないというようなものが少しあったということは聞いております。それは今週実施するというので、検査官も先週は9名ですが、今週は10名ということで、かなり検査の量は多くなっている状況です。

○記者 じゃ、その影響で検査全体が後ろにずれてしまうとか、そういう影響があるものではない。

○澤田安全規制管理官 予定どおり今週できれば、先程お話がありましたように、1号機についての3号検査は終了予定となっております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 他、いかがでしょうか。シュゾウさん、どうぞ。

○記者 毎日のシュゾウです。

聞き逃しかも知れませんが、金曜日の午前中の核燃施設の審査会合の対象事業者、未定とおっしゃいました。

○米谷総務課長 はい。まだ決まっておりません。

○記者 メールで流れていませんか。

○米谷総務課長 どんな感じで流れていますか。

○記者 JRR-3（研究用原子炉施設）とHTTR（高温工学試験研究炉）の地震というふうに。

○米谷総務課長 それは違うと思いますね。

○記者 分かりました。

○米谷総務課長 ちょっと確認をいたします。

○司会 他、いかがでしょうか。

○米谷総務課長 確かに流れているようなので、ちょっと確認をいたします。すみません。

○司会 確認次第、こちらでお知らせするなり、皆さんに周知したいと思いますので。
他にございますでしょうか。カンダさん、どうぞ。

○記者 1点だけ、伊方のパブコメなんですけれども、何か現状、集計みたいなのはされていますか。

○米谷総務課長 確か今週末ぐらいまででしたね。まだどんな状況か聞いておりません。
今週末取りまとめますので、週末ぐらいには。

○記者 金曜日にもし状況が分かれば。

○米谷総務課長 分かりました。

○司会 他、ございますでしょうか。

それでは、本日の会見、これで終わりにしたいと思います。御苦労さまでした。

—了—